



志をもって 未来を切り拓け

< 貫く精神 >

自学
温言温動

「いじめについて考える日」の 取組を行いました

7月3日(木)に生徒会が主催する「いじめについて考える日」の取組を行いました。「梅林中人権三箇条」をもとにして、各クラスで大切にしたいことを考え、それを実現するための取組を行いました。7月3日には、その取組についてクラスごとに振り返りました。振り返りをするときに、「相手の立場に立った理解や自己の心の弱さを見つめられるようにすること、当事者意識をもって自分の考えを伝えること」を大切にしましょうと、生徒会の子が話をしました。今後、各クラスで話し合ったことをもとにして、7月15日(火)から行われる梅林中学生会サミットで意見を出し合い、生徒会として「いじめをなくすための行動指針」を作成することになっています。

各クラスの取組を振り返り、今後自分が大切にしたいと考えたことについて紹介します。

- クラスのみんなで行動することや、この取組では「サボるような雰囲気がある」という課題が出たので、みんなで行動する雰囲気をつくれるようにすることを大切にしたいと思いました。(1-1)
- 普段から、仲間のよさを見つけられる目をもつことを意識していく。取組だからやるのではなく、何も言われなくても温言温動を大切にしていく。(1-2)
- 自分ができていても仲間が悪口や言葉が悪かったら、誰かが嫌な思いをしてしまう。「だめやよ」「その口調どうなの？」などの声掛けをして、どんどん減らし温言温動を増やしていきたいと思った(1-3)
- 冗談が通じることがあるけど、その冗談で相手を傷つけることがあるから、その言葉を聞いて、相手はどう思うのか？自分は言われているのか？と自分に置き換えて話していきたい。(2-1)
- 振り返りの中で、どさくさ紛れに悪口を言うということが出てきて、心がギュッとなかったので気をつけたいと思った。(2-2)

- この取組を通して、知らなかったよさを知ることができたし、みんなが一生懸命志に向かって頑張っていたことがわかった。仲間が頑張っていることをバカにしたらダメだから、仲間が頑張っていれば応援していきたい。

(2-3)

- 相手のことを考えて行動することが大切だと思った。話す人の方を向いて話を聞くことは、相手を大事にする思いにつながるので、これからも取組で意識したことを続けていきたい。(3-1)
- 学級の温かさがより深まった取組であったと思うので、これからは仲間の陰での努力を見つけ、その行動の裏にある意味まで目を向けて生活をしていきたい。(3-2)
- スマイルタイムでよい姿を聞くと温かい気持ちになるので、今後のスマイルタイムで積極的に発表したり、温言温動をたくさんしたりしようと思った。(3-3)



3-1学活の授業のようすから

～自分たちの生活を見つめ直し、
よりよくするために話し合う姿～

6月30日(月)に3年1組が学活の授業を全校の先生に公開しました。話し合いを中心とした学活の授業で、すばらしいと感じたことがいくつもありました。

① 4月と最近行った学級生活のアンケート結果から、「学級の一人一人を大切に

いるか」という項目の「思わない」と答えた生徒が、4月は4%でしたが今回は0%になっていました。その理由について、これまでのSFBの取組や委員会のキャンペーン、生徒会のキャンペーンなど、学級が取組がこの結果につながったと、多くの子が発言していました。これまでの学級の歩みによる成果を多くの子が実感しているからこそ、この発言につながったのだと感じました。

② 授業の中盤で議員の子が、「私は朝の会と帰りの会の司会を議員としてやっているけど、タブレットをさわったり、前後でしゃべっていたりする人がいると、気まずいことがあるから、みんなが参加してほしい」と、素直な思いを打ち明けたことを受けて、学習班での話し合いが一気に深まりました。きっと3年1組が、一人一人を大切にしたいという思いでこれまで歩んできたからこそ、苦しい胸の内を明かしてくれた仲間のことを、他人事ではなく、自分事として考えることができました。

自分たちの生活を見直すことによって、さらによりよい生活を求めようとする素晴らしい姿を、話し合いの活動を通して発揮することができました。



2-2理科の授業のようすから ～より妥当な考えを求めて、実験を繰り返す姿～

同じ時間に2年2組が理科の授業を全校の先生に公開しました。カイロをつくる授業で、より高い温度の回路をつくるために、条件を変えながら見つける授業でした。そのときの授業のようすで、素晴らしいと感じたことを紹介します。

どの班も、最初に作った化学カイロよりも高い温度が出るように、他の班の結果をロイ

ノートで確認し、何をどう変えたらいいか話し合うなど、試行錯誤しながら工夫して、次の実験に取り組む探究の姿ありました。

理科では、思うような実験結果を得られなかった場合に、自分たちが立てた仮説が本当に正しかったのかを検証し、新たな仮説を立て、再度実験をやり直す姿が、主体的に学ぶ学習姿勢としてめざすものとして挙げられています。そんなすばらしい姿をどの班も見せることができました。

また、準備や片付けも人任せにせず、どの子も進んで動く姿も見ることができました。



1-2家庭科の授業のようすから ～仲間を見守り、支える姿～

7月3日(木)の1-2の家庭科の授業では、実際に布を使って、いろいろな縫い方を学ぶ授業が行われていました。縫い方がよくわからない子が学習班の仲間に縫い方に聞きながら作業を進めたり、早く作業を終えた子が、仲間の作業の様子を見届けていたり、縫い方を丁寧に教えたりするなど、学習班の仲間とつながることを大切にされた温かさのある学び合いの姿を見ることができました。

